

さぼうえんてい 砂防堰堤の役割

①上流から流れてくる土砂をためる効果

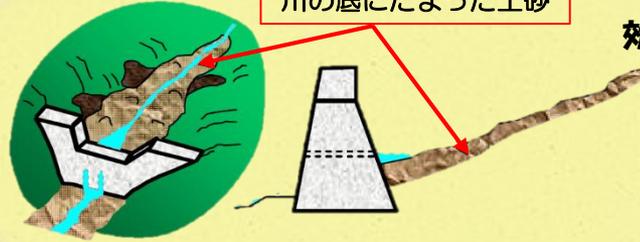
流れてきた土石流



効果①土石流を防ぐ

川の上流から流れてくる土石流を砂防堰堤でうけとめ、下流へ流れる土石流の量を少なくします。

川の底にたまった土砂

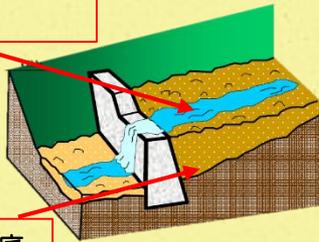


効果②たまった土砂が流れるのを防ぐ

川の底にたまっている土砂が、洪水で流れ出るのを防ぎます。

②土砂がたまってからの砂防堰堤の効果

ゆるやかになった川の底

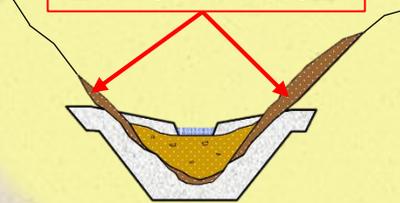


効果①川の底が けずられるのを防ぐ

土砂がたまり、川がゆるくなることで水の流れが遅くなり、川底がけずられるのを防ぎます。

もとの川の底

川底が上がることで、山がくずれのを防止

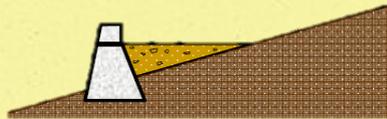


効果②山がくずれのを防ぐ

土砂がたまり、川の底が上がることにより、山がくずれのを防ぎます。

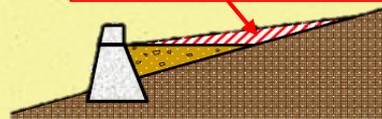
ポイント 砂でいっぱいになっても、効果があるよ!

効果③ 流れていく土砂を調整する



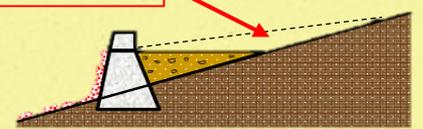
砂防堰堤がいっぱいになるまで土砂をためます。

大洪水のときに、流れてくる土砂をためるところ



大洪水のとき、川の底がゆるやかになっているため、水の流れが遅くなり土砂がたまることで、下流へ流れる土砂の量を少なくします。

次の大洪水のときの、土砂をためるところ



たまった土砂は、川の水と一緒により少しずつ流されて、次の大洪水の時の土砂をためる空間になります。

